

# 卒業生対象 キャリアアンケート集計結果

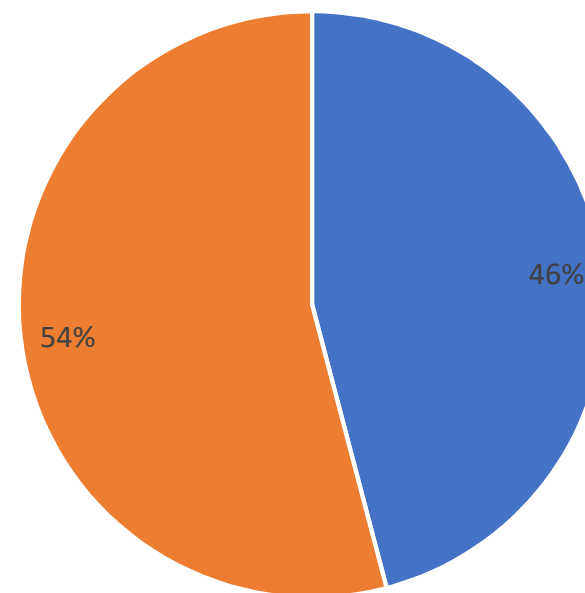
2020年9～10月実施



### 集計基礎情報

回答数		<b>61</b>
内訳	人間	11
	文学	11
	国際	25
	体育	12
	大学院	2

### 転職の有無



■ あり ■ なし

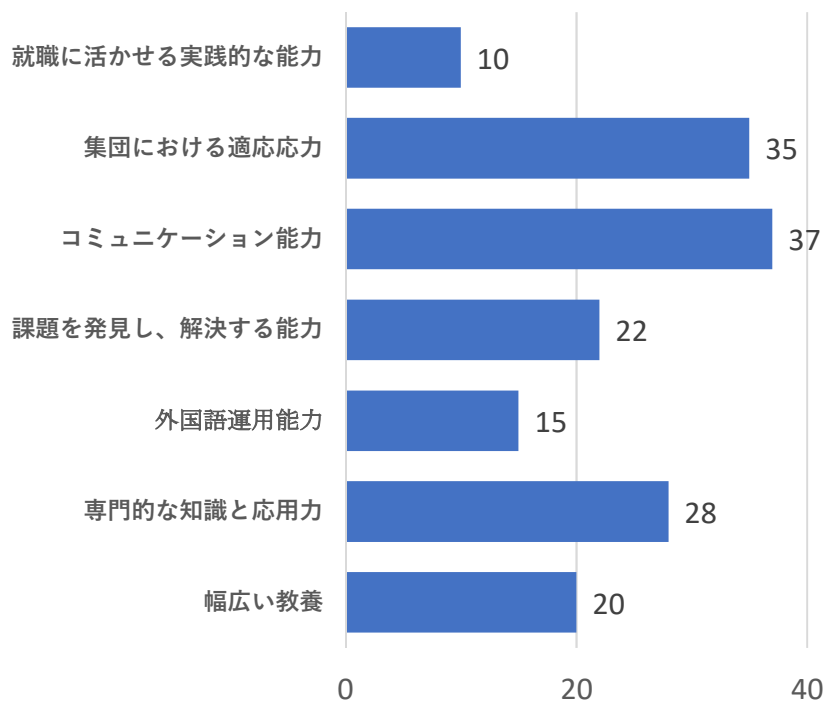
あり	33
なし	28

## 集計結果：卒業生向けアンケート《回答数61》

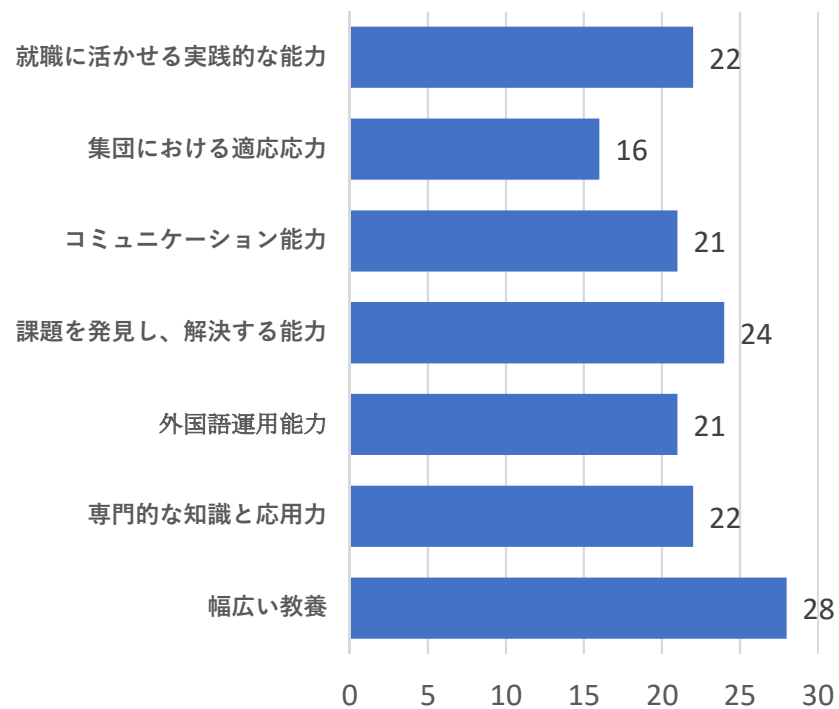
2020/10/28

3

天理大学での授業や活動を通して、あなたは以下の能力を身につけることができ、現在の職業や生活に活かせていますか。（複数回答可）



社会人になってから大学時代に身に付けておくべきだったと思う能力は何ですか。以下の中から選んでください。（複数回答可）

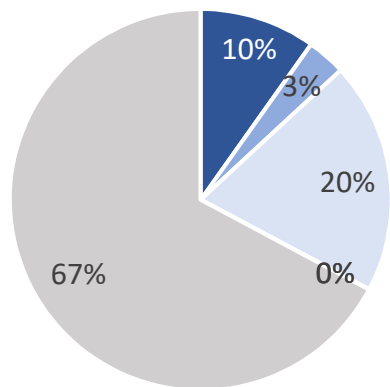


# 集計結果：卒業生向けアンケート《回答数61》

2020/10/28

4

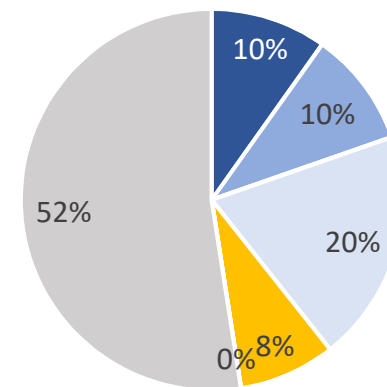
キャリア科目「キャリアデザイン（人生と職業）」を受講した方に質問します。その授業内容が現在の仕事に役立っていますか。



- 大変満足
- やや満足
- 普通
- やや不満
- 大変不満
- 受講していない

大変満足	6
やや満足	2
普通	12
やや不満	0
大変不満	0
受講していない	41

進路課（現在はキャリア支援課）が企画した「進路・就職ガイダンス」の内容への満足度は次のどれですか。



- 大変満足
- やや満足
- 普通
- やや不満
- 大変不満
- 受講していない

大変満足	6
やや満足	6
普通	12
やや不満	5
大変不満	0
受講していない	32

# 集計結果：卒業生向けアンケート《回答数61》

2020/10/28

5

キャリア支援課でどんな企画があれば、社会人として役立つと思いますか。具体的に記述してください。

マナー講座を開催してほしいです。
本部勤務に進む予定でしたので、直接お世話になったことはありませんが、大学で学んだことを仕事に繋げられることはとても幸せなことだと思うので、将来のビジョンを描きやすいような、興味を惹くようなプログラムがあると、大学生活もさらに実りあるものになるかと思います。
教員希望の方への志望動機や小論文の書き方講座（教員となった後の生徒の大学志望動機添削のため）
敬語の実践的な演習。
教養
・実際のOBOGを招き、幅広い分野の職種の実況・課題及び在学時の活動等の講演会。 ・幅広い年齢層との関わり
就職率の具体的な数字
にをいがけ実習
社会人と学生で社会の見方が違うので、社会人と学年でディベート。
働いている卒業生の話
社会貢献活動団体との交流
色々な職種の卒業生を集めて、就活生とお話する場を設けること。
グループディスカッションのような企画があれば、社会に出てから様々な人とコミュニケーションをとるのに役立つと思います。
会社での言葉遣いや社会に出てから必要となるマナー等
課外活動、インターン
コミュニケーション能力を高める講座
採用試験対策、説明会等
1.インターンシップの必須科目化 2.分野別のキャリア支援(教員、民間企業など個別に対応できる人員体制) 3.LINE、zoom等のオンラインツールを使い、就職支援講座をいつでも受講できる環境の整備
複数の会社を訪問して、天理大学の知名度をもっと知っていただく。
卒業後、1年～2年経つ卒業生に話を聞ける機会
入学してすぐに社会人初心者講座（Microsoft Officeの応用やブライントタッチの必要性、口座や年金、奨学金、上司や先生とのメールの仕方や形式、正装（スーツなど）の正しい着方など）を開いてほしいです。
常識、マナー
上下関係
社会人としてのマナー講座など
十分だと思います。

体育分野の専門的な知識の学べる場
会社へ提出する応募書類に添付する送付状の書き方などの講習
現場に出ている人の講演
・部活漬けの学生への支援、キャリアプランニングのフォロー ・社会科教員免許を全て取得できる(地理歴史/公民)体制の整備 ・「仕事」とはなにか」についての講義の実施 ・一方通行型授業の廃止
幅広い資格の講座
ビジネスマナー講座
日本語教師を育成できるような企画
幅広い職業の紹介 (まだハッキリと進路を決めておらず、よく分からないまま就職したため)
面接練習
社会人として当たり前のことを学ぶ機会。基礎的な教養。
調べれば出てくるが各企業の各選考における採用応募数における内定者数。離職率。
社会人としてのマナーや言葉遣い等、基本的なことを教える企画。 (名刺交換や挨拶の仕方など) 社会に出て、意外とマナーを知らない人が多いと思ったため。
人として何が大事か、働くとは何を喜ばして生き甲斐とすることであると伝えるものが必要だと思います。 就活で何が大事かを伝える以前に、天大生には人として何が大事なのか、社会を回すのは人を喜ばして我が儘とすることであると伝える何か、人間性を高める何かが必要だと思う。具体的なものが出さなくて申し訳ないです。
教職志望対象のセミナー等
OB、OGの就職先について知る機会など
就職するという意識するのではなく、自分自身が世の中に対し、どのような分野でどのような人になるのか、自己を見つめ直す時間を作っていくべきである。 具体的には、内親を行うなどである。 これらを行うことで、進むべき道が自ずと見えてくるものである。 また、最後に就職し企業に雇われるのがゴールではなく、常に経営者と同じ目線を持って、自分自身も経営の一端を担っていることを働く前から持つことが重要である。これからの世の中は、企業などに雇われ何事もなく程々にやり過ぎ給料をもらい生活設計をしようとするような人が精査されていくようになるはずである。公務員が悪いわけではないが、公務員型人間は、世の中にはこれから先必要とされなくなる。自分自身の答えは全て自分の中にある。
一般教養に対する勉強の企画があると就職活動がしやすい。 仕事をやる能力に学力は関係ないがある程度ないと参考に通過できない。
一般常識を知る機会があると嬉しいです。例えば来客者へのお茶出し、名刺の渡し方等

## 集計結果：卒業生向けアンケート《回答数61》

2020/10/28

6

キャリア支援課でどんな企画があれば、社会人として役立つと思いますか。具体的に記述してください。

一般常識を知る機会があると嬉しいです。例えば来客者へのお茶出し、名刺の渡し方等
もっと詳しく自己分析。その後の生活や自分に対する変化
小さな大学なのでマンツーマンな進路指導をしていただければ。
擬似社会人体験等
電話マナー
今後の就職活動を考えた際に、外国語の習得とWebに関する能力の習得きっかけを与える企画など
性格分類や心理テスト等によって学生一人一人の職業適性を調べ、また自身の長所や強みを理解してもらい、それをどのように発揮していくかを考えてもらう機会があればと思います。学部学科を問わない講座となると、集団の中で自分を見つめ、熟考することが困難です。一人ひとりに合わせたキャリアプランを提案するために個別相談会等の機会をさらに増やしたり、チューターを付けていつでも相談に乗れるようにしたりすることで、学生もより気軽に参加できると思います。
本当にやりたい仕事について
外部（会社など）からの招待講義
企業などと連携した擬似面接

# 集計結果：卒業生向けアンケート《回答数61》

2020/10/28

7

天理大学は2025年に創立100周年を迎えます。卒業生として、これからの天理大学に望むことは何ですか。自由に記述してください。

私は、天理大学でたくさんの機会や人との出会いに恵まれ大変感謝しています。これまでどおり、学ぶ学生にたくさんのチャンスを与える大学であってほしいです。
スポーツ、語学、宗教、他にも様々な分野で活躍している母校を誇りに思います。特に大切なことは、勉強やクラブ活動以外で学ぶ「心を育てる」部分だと思っています。未信者であっても、卒業する頃には天理が故郷に感じ、たまに帰ってくる友達も多くなります。天理大学の創設者である二代真柱様の想いを学生一人一人がしっかりと理解する場をもう少し設けられていいのではないのでしょうか？
教員養成に関する体制の更なる強化
勉強だけでなく社会人としてもしっかりした人間を育ててください。
教養
天理らしさの継続 全国各地のつながりを未来につなげる活動
スポーツの天理の向上
就職率の向上
よふぼく
学生たちが疑問に思っ行動出来る環境作り。 挑戦できる環境作り
もっとデジタル化すべき！
学生が過ごしやすいような環境作り
天理大学は語学には強いと思うので、より一層留学先を広げたいのではないかと思います。
少人数性で学生同士・学生と教授の距離が近いことが天理大学の魅力です。自分が今後就きたい職業について、より早い時期から考える機会をつくり、それに向かって早い時期から準備をしていくことができる環境作りが大切だと思います。
社会と共に成長できる大学であること
もっと、研究する人と施設を充実させてあげて欲しい。 研究する環境が身近ある事で、より専門的な知識を持つ人が増えてくるのでは。
これからも真面目で親切な学生さんを社会に送り出してほしいです。
コロナに負けず頑張ってください。

今後望むことは、過度なブランド力強化にこだわりすぎず、個々の学生の強みをより伸ばすべきです。入学時の偏差値は低いです。卒業時の偏差値を高めるための能力を伸ばせる環境はこの大学にあると考えます。大変失礼を承知で申し上げますが、学科改編等で、これまでの個性が育つ天理大学らしさは無くなっているように思えます。私は語学系の学科に所属していましたが、今思えばダブルメジャーで語学を勉強するべきだったと考えます。アスリート育成を前面に出しすぎているように思えます。グローバルな視点を保とうとしている学生さんに手広くサポートしてもらいたいと思います。また大学の職員の方々の意識が低いと思われ。もうすこし学生目線で物事の対応をしていただきたいとおもいます。
また、卒業後に各種証明書入手するのに時間と手間を要します。以前、証明書を事前に余裕待って依頼したにもかかわらず、受付の方の不慣れな対応や説明不足で当方の必要な手続きに遅れが生じたことがあります。オンライン申請や銀行口座振込受付や海外への送付対応など、多くの卒業生が海外で活躍する方々が増えて時代だからこそ、柔軟な対応をしていただきたいです。これはすぐに出来ることだと思いますので、早急に改善を求めます。
幅広い教養をつけて社会人を迎えられるような環境づくりをして頂きたいと思います。
もっと天理大学が素晴らしい大学となるために学生の意見を可能な限り汲み取り、発展してほしい。
必要とされる大学
インタビュー形式で学生さんや卒業生の話をネットに上げて欲しいです。ルーティーンや身につけたスキルなど、ためになるような話や、大学の見どころなど。
学力の向上、国際化の発達
天理大学はスポーツが有名で盛んである もっともっとスポーツしてる人が増えてその中で団体でいることの経験や忍耐力、努力すること、などを学んでほしいです
日本国内、世界各地で活躍できる人材の育成にこれからも尽力して頂けたら幸いです。
今のままで十分だと思います。
高度な専門性を持った人材の育成
国際社会、少子高齢化社会で活躍できる人材育成
これまでのいいところを残しつつ、新しいことをどんどん取り入れて発展して欲しい
未長い発展
・少子化時代を生き残っていただきたいです。
卒業生のサポートも手厚い天理大学であれば、通学中のみならず卒業しても誇れる大学であると思います
大学院体育学研究科を修了した者ですが、学科のところで選択肢がないのは何故ですか？ このままだと受験者数が減る一方ですが、大学として何か考えているのかと思っています。 頑張ってください。
自分らしく楽しく勉強できるような大学生活を送ってください。

# 集計結果：卒業生向けアンケート《回答数61》

2020/10/28

8

天理大学は2025年に創立100周年を迎えます。卒業生として、これからの天理大学に望むことは何ですか。自由に記述してください。

歴史を大切に 卒業後も胸を張って大学名を言えるようにしてほしいです。
フットサルコート使用の自由化
今後の発展
笑顔で働いてたら大抵のことはうまく運ぶ
特にありませんが、これまで通りの楽しい天理大学のままであってほしいと思います。行事や学科会など、これからも続けてほしいです。
正しいことは正しい。間違ったことは間違ったと判断できる。発信できる信念をもった人間の育成。
我々卒業生が天理大学を卒業したことを誇り続けられるように誠実な大学でありつづけてほしいです。
天理大学にとって他大学に真似できないことは、その宗教性、宗教的環境である。 多くの学生が、ライフステージいうと青年期であり、その時期に宗教的環境で過ごすことは、今後の自己の思想、信念に与える影響は大きいのといえる。 何のために天理大学があるのかを意識して欲しい。 親神様、教祖の教えてこられたことを天理大学で学ぶ、学生に対して触れる機会、深く考える時間を増やすべきである。
4年間天理大学で部活に励み素晴らしい先生方や先輩後輩と出会えたのは人生においてとても貴重なものになった。 コロナで大学としても大変だと思うがこれからも生徒の事を第一に考えてくださる大学であってください。 本当に感謝しています。
とにかく人が良い！と思っているので、自分以外の人と関わることで色々な気づきができ、視野が広がると思います。自由な発想ができる仕組み、それを後押しできるような環境・人材を今後も大事にして頂けたらと思います。
早期から就職への意識づけ
海外との交流を増やせれば。
現在はコロナで不可能だと思いますが、もっと留学生と交流できる機会が多ければと思います。
これからも学生が文武ともに全力で取り組める大学であってほしいです！
大学だけは、ずっと残してほしい。
(1) 各学科で学ぶ専門的知識をよりいっそう深め、いわゆる就職待合ではなく大学本来の、学問を学ぶ喜びを感じられ、それを謳歌できる大学。行事やイベントの拡充よりも、講義を受けることにまず意欲を持てるように、教室環境の整備やガイダンスの充実(どのようなことを、どのようにして学ぶ講義か、開講前にしっかりわかるように)、ホームページで先生方をより親しみやすく紹介する(一般向けとは別に、学生専用のページでさらに詳しく紹介するのはどうでしょうか。学科の先生方だけでなく、一般教養科目の先生方もです。たとえば一時きかれていた「研究室訪問」をもう少し明るめにアレンジして、学生インタビューとの対話動画などを載せたり、先生の学生時代を振り返っていたり、よく召し上がるランチを紹介したり……)など、中学・高校の時とは違い、大学の先生は学生にとって「遠い」存在です。近づきたい、気軽に話しかけづらい雰囲気や、まだまだ残っていることは否めません。しかしこのような取り組みをもって学生に共感を呼ぶことができれば、大学に通うことの楽しさや喜びをより強く味わうことができ、天理大学で学ぶ愛着や誇りを実感できると思います。
(2) 一般教養の開講科目を増やし、学生の多様な関心に応えられるカリキュラムの構築。(たとえば私は国文学専攻ですが、宗教学にも非常に興味を持っていましたので、宗教学科の開放科目を履修していました。しかしやはり部外者のような感じは否めず、他学科の基礎科目を一般教養科目のようにもって幅広く、気軽に履修できれば良いのと思っています)
(3) 奨学金などの制度をいっそう充実させ、経済的理由で学生生活に不自由さを感じさせないように、積極的に学生を支援する大学。

ますますの活躍
天理大学の個性や性格をもっと色濃く出してほしい
学生の徳分をしっかり伸ばしていきけるような環境作りをこれからも発展させていってほしい。
ますますのご発展を祈願しております。